

第 44 号 令和 7 年 1 月 31 日受理 文教常任委員会付託

件 名 千葉県における教職員の未配置解消を求めることについて

要 旨

千葉県では、2020年から教員未配置の数が右肩上がりに増え続け、2024年3月1日付けで469名もの教員未配置が発生したことが明らかになった。これは千葉県の教育にとって、大変危機的な状況にあると考えている。

学校に教員未配置が起こるとどうなるのか。ただでさえ長時間過密労働を強いられている学校現場では、未配置による仕事のしわ寄せが全教職員に及び、さらなる過酷な状況へと陥る。そして、教職員に余裕がなくなると、もっとも被害を受けるのは子どもたちである。本来なら、適正な教員数で手厚く指導できたはずが、教員未配置が発生すると少ない人数で多くの児童生徒を相手にすることになり、一人一人に寄りそった教育を行うことが不可能になる。そうした中で、学校嫌いになる子、学力不振に陥る子、不登校になる子が増えることが考えられる。こうした状況を防ぐためにも、県民にとって未配置の状況を改善することが急務である。

よって、児童生徒の豊かな学びを保障する観点から、教育機会の確保を守るためにも、この状況の抜本的な改善を求める。

以上の趣旨から、次項について措置願いたい。

1. 必要な数の正規教員を採用すること。
2. 同一労働同一賃金の観点から、臨時的任用講師の給与を正規教員と同じく2級格付けの給与表で算出すること。
3. 千葉県内の教職員の給与を、近隣都県（東京都、埼玉県、神奈川県）と同程度の給与水準に引き上げること。
4. 子どもたちにゆきとどいた教育を保障するため、過重になっている教職員の業務を改善すること。
5. 産前産後休暇と育児休暇に対して、代替教員を確実に配置すること。